ふじさわネット通信

2018年６月　第32号

発行　みんなの教育・ふじさわネット
代表　松本　一郎
TEL･FAX　0466-33-4820

中学校「特別の教科 道徳」教科書採択　傍聴・注視しましょう

決定は８月１日（水）教育委員会　会場・時間未公表

採択審議委員会７月11日（水）藤沢市教育文化センター　9 時 30 分

6月定例教育委員会の最後に、平岩教育長は中学校「特別の教科 道徳」教科書を採択決定する臨時教育委員会を8月1日(水)に開くことを公表しました。6月の教育委員会での公表は昨年に続くものです。

教科用図書採択審議委員会(この後は審議委員会と表記)の第1回が6月1日に開かれ、審議方針を確認し、実質審議を行う第2回を7月 11 日(水)午前9時 30 分から藤沢市教育文化センター(大清水中学校隣)で行うことを決定しました。審議委員会は、「調査員による調査資料」、「中学校から出される調査書」、「教科書展示会での市民意見書」、「神奈川県の調査研究の観点」等を基に審議し、7月に教育長に答申を提出します。

中学「特別の教科 道徳」教科書

No	発行者	略称	備考	自己評価
1	東京書籍	東書		学期
2	学校図書	学図		
3	教育出版	教出		学年末
4	光村図書出版	光村		
5	日本文教出版	日文	別冊ノート	毎時･学期
6	学研教育みらい	学研		
7	廣済堂あかつき	廣あかつき	別冊ノート	毎時･学期
8	日本教科書	日科		学年末

教科用図書採択審議委員会委員

No	氏　名	新･再	備　考
1	平山（ひらやま） 尚（ひさし）(委員長)	新任	大庭中学校長
2	加納（かのう） 信人（のぶと）	新任	六会中学校長
3	平牛（ひらうし） 信太郎（しんたろう）	新任	御所見中学校長
4	橘田（きった） 誠司（せいじ）	再任	村岡中学校長
5	黒木（くろき） 俊治（としはる）	新任	湘南台中学校長
6	白井（しらい） 功（いさお）	新任	滝の沢中学校長
7	松原（まつばら） 保（たもつ）	新任	羽鳥中学校長
8	田中（たなか） 香里（かおり）	新任	石川小学校長
9	高橋（たかはし） 眞理子（まりこ）	再任	白浜養護学校長
10	金子（かねこ） 元治（もとはる）	再任	秋葉台中学校長
11	中村（なかむら） 裕司（ひろし）	新任	高浜中学校長
12	長田（ながた） 光子（みつこ）	新任	高倉中学校長
13	畠山（はたけやま） 久枝（ひさえ）	新任	鵠沼小学校長
14	鈴野（すずの） 達也（たつや）	新任	保護者
15	市村（いちむら） 杏奈（あんな）	新任	保護者
16	小池（こいけ） 直美（なおみ）	新任	保護者

藤沢市の採択方針　基本的な考え方 (2018年5月教育委員会決定)

(1)国，県，市の資料等を踏まえて採択する。

(2)公正かつ適正を期し採択する。
静ひつな採択環境を確保し，採択権者としての判断と責任において公正かつ適正な採択を行う。

(3)学校，児童生徒，地域等の特性を考慮して採択する。
本市の児童生徒の実態や地域の特性を考慮して採択する。

(注)採択方針･基本的な考え方は昨年度と同じ

昨年の小学校の道徳教科書の採択で、審議委員会は、教育長への答申は議事録とともに、委員の発言を発行者ごとにまとめたもの(委員長作成)をあわせて提出しました。どの教科書についての発言が多かったかなど視覚的にもわかりやすい資料になっていました。

また、採択の委員会の議論では、市民の意見書や、学校調査書の記述が取り上げられ、市民や現場の意向を尊重する姿勢が見られました。私達が要望してきた運動の成果です。今年、さらに採択を前進させるために、しっかり傍聴し、注視していきましょう。

藤沢市教育委員会事務局と懇談
2018 年5月 10 日

昨年の採択では、各学校作成の教科用図書調査書のまとめ、展示会での市民の意見書のまとめなどの資料が作成･公開(ホームページ)されました。また、音声傍聴や展示会土曜日開場が実施されました。わたしたちの要望が、教育委員会事務局の努力もあり実現しました。

5月 10 日、事務局との懇談を行い、教科書採択の公開制を高める工夫や改善、採択時の教育委員会の傍聴(広い会場の確保、資料の提供など)、小学校の英語授業などの教育課題について話し合いました。

今年は教科書展示会の日曜開場(市役所)が実現しています。

みんなの教育・ふじさわネット学習会　寄せられた感想文から　2018年5月12日

タイムリーなテーマで採択に向けて大事な一歩と思います。

教科書の「自己評価」を現場の先生方が〝活用〟すると数値で評価するのと同じことになってしまいます。

また、文科省・中教審での議論では「何ができるようになるか（なったか）」という到達度評価するのではない、とつい最近も確認されたところです。（そうでなくて、「個人内の成長を見取る評価」だとしています。）

誤解され易い点ですが、現場の先生方にも共有していって欲しい歯止めだと思います。

スウェーデンの教科書にびっくりしました。こういう教育を受ければ、民主主義・自由・個人の考え方など、色々としっかり身につくと思います。

私の甥はオーストラリア人と結婚して、オーストラリアに住んでいます。その学校教育の自由さ、校長自身が「文科省の考え方で教えるなんてとんでもない。我が国が民主主義国家です。文科省は我々が選ぶのです」と当たり前に話しています。デモが通ると町の人々は「自分の考え方を表現するのは当たり前だ（そのデモの反対の意見もありますが）」と見物しています。たくさんのオーストラリア人を見ると、自由な国とはこういうものかとうらやましく思います。オーストラリアにも検定はありません。

9年間同じ徳目の教材を繰り返し繰り返し教えられる子どもだけでなく、教える教師にとっても大きな影響があるのではと心配があります。

教師の側は授業をするだけでなく評価もしなければならず、その評価のために日々の教育も歪められるようになり、結果として学校生活全体が変にねじまがるのでは?

アメリカでは連邦の政策として、6つの徳目にあたるものを実践する教育プログラムが推奨されていて、連邦から実施する州に予算が与えられているとのことです。

これが「正義を実行する」的な内容になっているのですが、にもかかわらず、アメリカ社会の歪みはよく知られている状態です。やはり、道徳で人々の生活が良くなるというのは、アメリカ追従という点でも幻想でしょう。

どうしてもこの種の集会や勉強会に来るといつも思うのですが、何とか子育て中の若いお父さん・お母さん方や教員志望の若い学生さんなどに少しでも参加してもらえる方法はないものなのでしょうか。私も自分が若くないので若い人の情報手段がよくわからないのですが、大学の掲示板にはってもらうとか、タウンニュースに出すとかなるべく広く広く宣伝したらどうでしょうか。

面白かった！今までどうにもわかりにくかった点が見えてきた。いすれにしても現場がどう使うかにかかることだと思う。各学年 200 頁前後というこの教科書を前にして教員は困惑するだろう。進め方の議論もおこしていきたい。

入学おめでとうチラシ 全ての市立小中学校で

「チラシをもらって迷っていた気持ちを押された」

2018 年 4 月 5 日本町小学校

4月5日、小学校午前、中学校午後の入学式にあわせ、校門前で就学援助制度について知らせる「おめでとうチラシ」を、延べ 150 人以上の方の協力を得て配付しました。中学校では、育鵬社教科書の問題点や採択制度について考えるパンフレットもいっしょに手渡しました。多くの方のご協力で 6000 枚以上を配ることができました。ありがとうございました。

後日行われた就学援助記入会に9人の参加（電話2人を含む）がありました。「チラシをもらって迷っていた気持ちを押された」「制度のことを知らなかったのでありがたかった」「入学準備金の前倒しは助かる人が多い」などの声が寄せられています。また、中学校で受け取って助かったという方が3人おられました。チラシが人を支える力になっています。